

令和4年度事業計画書 <グループホーム白楽荘みくにの里>

テーマ：非常災害（感染症・自然）の避難計画に基づき、安全・安心あるサービスの提供と
人材の確保に努める

～安心して働ける職場として利用者・職員双方への優しいケアの実現～

サブテーマ：より良い人間関係を築き、快適で充実した生活が保てる環境づくり

1. 入居者の安心した生活・安全な空間の中で、安定したサービス提供が出来る

- ①入居者・家族の思いに寄り添い、訴えを傾聴することで、一人ひとりに応じた対応を行う。
- ②非常災害(感染症・自然)に備え、緊急時の人命優先・生活の継続を重視した、事業継続計画(BCP)を基本に、感染予防・減災対策など実現できるマニュアルを定期的に見直し、訓練を実施する。
- ③ケア者としての自覚と責任を持ち、利用者の尊厳を意識した認知症ケアを充実する。
- ④ケアプランのサービス内容をチーム内で共有し、実践することでケアの統一を図る。
- ⑤みくにの森クリニックや医療機関との連携により、利用者の健康維持・精神安定に努める。

2. 働きやすい職場環境づくり

- ①チームスタッフの職務能力に応じた研修(施設内・外)に積極的な参加を促し、資格取得・資質向上を目指して、介護技術・知識・認知症ケアの専門性を高める。
- ②ホームのチーム接遇目標(年間スローガン)を重視し、認知症の人の意思を尊重したケアの提供に努める。
- ③適時、業務改善・見直しを行い、職員の心身の負担軽減を図り、介護力の安定を目指す。
- ④上司との個別面談より、個々の悩みや相談を受容できる組織づくり。
- ⑤チーム内で年間を通して、計画的な年次有給休暇取得により、職員同士が理解しあい、お互いに支え合える職場風土を作る。(誕生日休暇の有休取得を行う)